

平成27年度 第2学年だより グリーン

先週の卒業式では「卒業生が涙しながら合唱している姿に感動しました」「答辞を聞いて3年生の千川中に対する思いの熱さを感じました」「3年生がいなくなって淋しいです」「来年の卒業式で自分たちは泣けるかな」など、みんなが式に参加して感じたこと、来年自分の番になったときのことも含めて、いろいろな思いをもっていました。

今日で2年生が終わります。この1年間を通してみんなは大きく成長することができました。毎日の授業を積極的に取り組み、家庭での学習ノートを頑張って続けることで、自分なりの学びを見つけ、1つひとつ課題を解決することの大切さを感じたはずです。また、運動会、尾瀬移動教室、職場体験、文化祭、都内めぐり、球技大会など行事を重ねるごとに友達と協力し、クラスの団結力を高め、2年生として千川中を支えてきました。それぞれが任された役割を果たすことで、集団として向上することも感じたはずです。

来年度は今まで千川中で学習したことや経験したこといかして、今よりも充実した時間を過ごしてください。先輩方が築いてきたよき伝統を受け継ぎ、みんなにしかできない千川中の黄金時代をつくってください。そして、自分たちの卒業式を大成功させてください。みんなの頑張りを応援しています。

～球技大会～

23日(水)に球技大会が行われ、大会スローガン「I believe you 燃え尽きろ 我が心 最高のきずなで勝ちに行け」のもと、球技を通してクラスの団結を高め、思い出をつくりました。開会式は男子の球技大会実行委員会が、司会進行などすべてを務めました。競技場の注意を演劇で発表したときには、思わず笑ってしまいました。



前半の種目は男子がバスケットボール、女子がサッカーでした。男子は都大会に出場したバスケット部の実力が高く、バスケット部を中心にパスを回しながら競い合っていました。女子のサッカーは全8試合が終わって、勝敗がつかず同点でPK戦を行いました。どちらのクラスもPKのキッカーを応援し盛り上がっていました。後半は男子がサッカー、女子がバレーボールでした。男子サッカーは実行委員を中心に試合が進められ、自分たちだけで競技を進めることができ、とても頼もしかったです。女子のバレーボールは柔らかいボールで行われ、思いっきりボールを叩いて天井にボールを当てている人もいて、競技を専門にしていない人でも活躍ができて、楽しく競技を行いました。



閉会式では女子の球技大会実行委員会が結果発表を、口真似のドラムロールでみんなの期待をあおり、最後に「ドン」で結果発表をするテレビドラマの表彰もしているかのように会場を盛り上げていました。最後の公表は、中松先生が中学校時代の球技大会の思い出を話してくださり、球技大会実行委員がみんなのために何時間も頑張っていたと褒めてくださいました。

結果は、男子のバスケットボールは1組、サッカーは2組Aチームが優勝、女子のバレーボールは2組、サッカーは1組が優勝でした。総合優勝は1組でした。



～新年度の予定と春休みの宿題～

月日	予定
4月4日(月)	春休み
4月5日(火)	春休み(終)
4月6日(水)	①着任式、②始業式、学活、③大掃除・入学式準備、給食なし
4月7日(木)	入学式、給食なし
4月8日(金)	①全校集会、②学活、③学年集会、④教科書配布、⑤学活、給食(始)

★始業式4月6日(水)の確認★

8:15	〔学級発表〕新学年玄関にて、新学級名簿を発表。2年生の時の教室に集合。
8:30	〔整列〕出席確認後、新学級ごとの出席番号順で廊下に整列し、体育館へ移動。
8:40	〔着任式、始業式〕式です。スクールソックス着用。
9:20	〔学活〕旧学級で最後の学活。
9:30	〔移動〕旧学級から新学級への移動。
10:00	〔学活〕雑巾、宿題の提出。
10:15	〔入学式準備〕卒業式のときと同じです。
11:10	〔イス移動〕体育館にイスを移動。全体学活。
11:30	〔一般生徒下校〕入学式の係生徒以外は下校。

★持ち物★

上履き、雑巾2枚、筆記用具
春休みの生活記録(保護者の方の印が必要)
春休みの宿題(数学)

教科	内容	締め切り等
国語	①単元別漢字P48～65 (読みの部分は読みしかテストに出しません) ②文法教室P6～11、26～29、34～50、 54～60、62～70、72～81	①は提出義務なし!ただし、勉強を モリモリすること! ②は必ず(最低)1度は、答え合わせを したうえで、特別時間割時に行われ るテスト終了後に提出!
数学	プリント「春休みの復習演習」	答え合わせをして、4月6日(水)始業 式の日に提出
英語	パートナー P126からP135	答え合わせをして、3年生の春休み明 けテストの日に提出(日程は4月に連 絡します)。
社会	〔地理〕白地図ワーク日本 P8～13 ・指示されていることをよく読み、ていねいに作業すること。 ・「スキルUP」のところも、忘れずにやること。 ・資料集や地図帳を使って調べること。 ※白地図ワークをやって「わかったこと」を自分自身で復習・ まとめをすると良い。	3年生の最初の社会科の授業がある日
総合	学習ノート4ページ分	始業式4月6日(水)朝8:25まで

～あゆみ編集委員会～

あゆみ第59号が発行されました。2年生からはあゆみ編集委員に**さん、**さん、**さん、**さん、**さんの6名が参加しました。2学期中頃から作文を集めたり、必要な写真を撮ったり、より良いあゆみにしようと頑張っていました。ありがとうございます。

被服室前のガラスケースの中に、昭和32年11月に発行されたあゆみ創刊号を見つけ読んでみました。そこには「あゆみは生徒の日常生活を記し考えたものを発表し合う場として誕生した」「文芸部・新聞部の中から創ろうと声が出た」とありました。あゆみの名前の由来は「“すばらしきものは人間”と1人1人が自信をもってあゆんでいけるように」だそうです。みんなの手元にあるあゆみ第59号を、あゆみ編集委員の思いや創刊号からの願いがあることを考えて、もう1度読んでみてください。



↑あゆみ創刊号の扉のページに載っていた詩です。

～第69回卒業証書授与式～

先週の卒業式で、2年生は会場の準備を任されました。体育館に紅白幕を張り、舞台を出して演台を置くなど、学年全員で準備ができました。自分の担当していた準備が終わると「ちょぼうします」と準備が大変そうな所のお手伝いをしてくれました。美化委員会や放送委員会も当日は朝早くから登校して、会場の準備をしていました。みんな、ありがとうございます。



**

さんが在校生代表で送辞を発表しました。3月に入り、みんなのメッセージをもとに文章を考え、原稿の訂正をくり返し、何度も発表練習をしました。本番も立派にやり遂げてくれました。ありがとうございます。

草木もようやく長い冬の眠りから覚め、生命の息吹が感じられる季節になりました。空を飛び交う小鳥のさえずり。暖かい春の光。今にも開こうとしている校庭の桜のつぼみ。そのすべてが三年生の皆さんの旅立ちを祝っているようです。

三年生の皆さん、本日は御卒業おめでとうございます。在校生一同、心よりお祝い申し上げます。

二年前、三年生の皆さんが優しく先導してくださった入学式。これから始まる中学校生活に不安を感じていた私たちを、温かく迎えてくださいました。皆さんの背中が、とても大きく見えたことを今でもはっきりと覚えています。

三年生の皆さんが、私たちの一番近くで、いつも優しく、時に厳しく指導してくださったのは、部活動の時間でした。練習についていけるのだろうか、先輩とは上手くかわっていけるのだろうかなど、多くの不安がありました。しかし、皆さんの自分の記録に全力で挑戦する姿や、仲間と励まし合い、協力し合いながら目標を達成しようとする姿にそれらの不安は吹き飛ばされました。「先輩のように強くなりたい」「先輩のように優しくになりたい」「先輩方のような絆を結べる仲間を作りたい」と思わずにはいられませんでした。

委員会活動を始めとする生徒会活動でも、三年生の皆さんは輝いていらっしゃいました。何が起きても、臨機応変に対応する柔軟さ、中心となって活動を引っ張ってくれるリーダーシップ、分かりやすい説明や指示だしで、私たちが活動しやすくしてくださったフォロアーシップ、それから大変さを表に出さない明るい笑顔。どれも私たちの憧れでした。

運動会の男子組体操。全員がまるで一頭の龍のように一体になり創り上げたタワーは、見ている人たち全員の心を震わせました。女子のソーラン節は、私たち後輩に、根気強く何度も熱心に教えてくださり、私たちは来年こんな風にみんなをまとめることができるのだろうかと不安を覚えたこともありました。本番では、今まで経験したことのない胸の高鳴りと心地よい一体感を感じることができました。

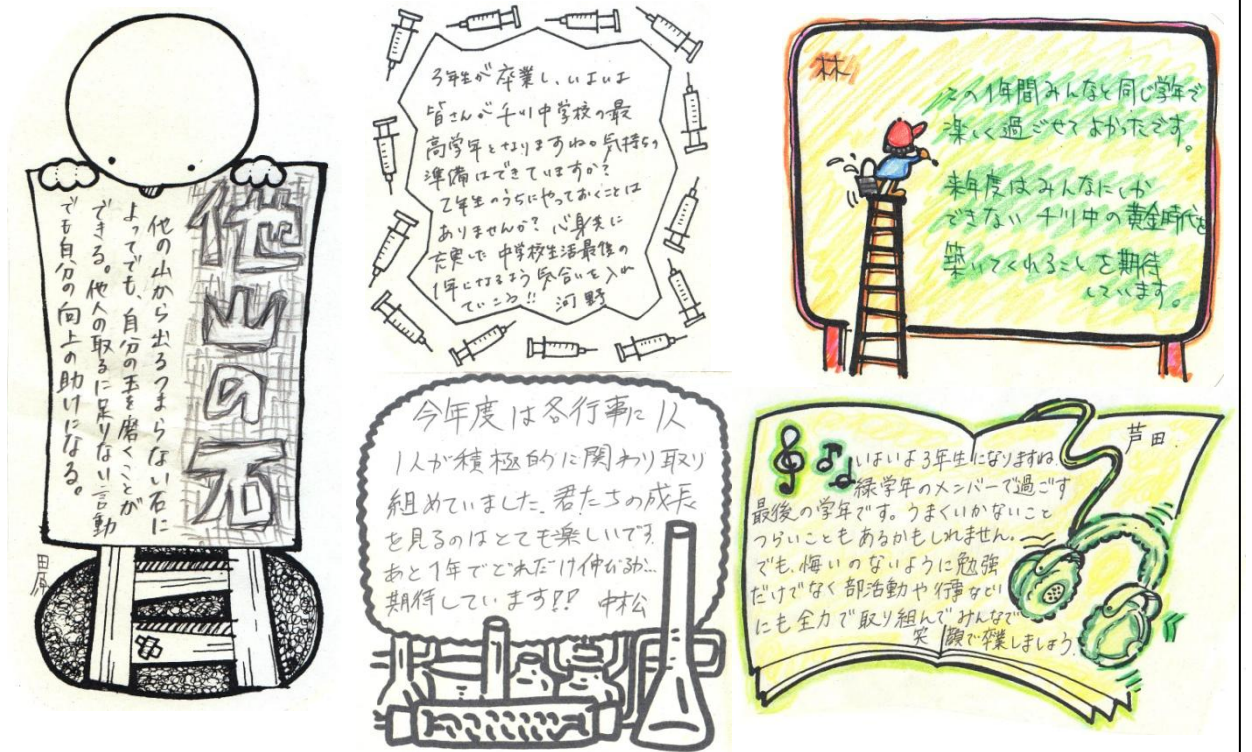
木々の葉が日ごとに赤や黄色に彩りを増してきたころ、文化祭が行われました。迫力とまとまりのある合唱が、私たちが思わず聴き惚れた歌声が、今でも遠くから聞こえてくる気がします。堂々と歌う三年生の皆さんの姿からは、固い絆と強い信頼関係を感じ取れました。今度は、私たちが感動ある合唱を創り上げ、聴いている人たちが思わず聴き惚れてしまう歌声を千川中に響かせることを約束します。また、合唱のみならず、完成度の高い舞台発表も心に残っています。キレのあるダンスや、修学旅行後の劇。会場を一つにする圧倒的な存在感。まるで芸能人が舞台に立っているかのようでした。今年はそんな皆さんの姿が見られないと思うと、淋しくて心細くなります。しかし、皆さんは数多くのお手本を示してくださり、私たちはそんな皆さんの姿を目に

焼き付けてきました。私たちはまだまだ未熟ですが、皆さんが築いてくださった伝統を守り、発展させるために全力を注ぎ、最善を尽くしていきます。

私たちが三年生の皆さんの引退した後の諸活動ががむしゃらに頑張っていたころ、皆さんは自分の決めた道を信じ、固い絆で結ばれた仲間とともに受験という大きな壁を乗り越えようとしていました。廊下や教室の雰囲気は私たちとは全く違い、皆さんの受験に対する真剣さが伝わってきました。これからの生活の中でも、辛い困難や大きな壁にぶつかるときもあると思います。そんなときは、千川中学校であった楽しい思い出や、辛かったけれど乗り越えることができた日々を思い出してください。どうかいつまでも、私たちの尊敬する憧れの先輩として輝き続けてください。名残は尽きませんが、いよいよ別れの日となりました。今後三年生の皆さんのご活躍と、輝かしい未来を心よりお祈り申し上げ、私たちが在校生からの「送る言葉」とさせていただきます。

平成二十八年三月十八日 在校生代表 **

～先生方から一言～



～1年間ありがとうございました～

あっという間に2年生での1年間が過ぎてしまいました。この1年間で、集会・朝礼で第2学年の生徒が発表をしたり、表彰を受けたりすることが多くなり、学校を支える中心的な役割を果たせるようになってきて、大きく成長を遂げることができました。2年生最後の総合学習では、上級学校調べを行い、中学校卒業後の進路についても考えました。

春休み中に、ご家庭でも進路の話をしていただき、来年度の進路決定へ向けて動き出してください。先日、保護者会でお願いしましたが、パソコンや携帯電話・スマートフォンなどの使い方や、SNSでの個人情報の管理などもご家庭で話し合っただければを思います。

来年度4月8日(金)14:00から保護者会・学級懇談会を予定しています。来年度の学年職員あいさつや学年方針の説明をさせていただきます。予定を開けていただければと思います。

保護者の皆様には、学校行事へのご理解・ご協力に大変感謝しております。1年間、ありがとう

